

 **東海ホールディングス**

ANNUAL REPORT 2013年3月期

CSR別冊版





NIPPON TELEVISION HOLDINGS

## ごあいさつ

日本テレビホールディングスは、高い公共性を担う放送局を中核としたメディア・コンテンツ企業として、社会的責任を果たしていくことは当然のことと認識しております。

開局60年の今年、社会に役立つ活動をさらに積極的に推進するため「CSR宣言」を策定しました。今後も地球環境保全や震災復興支援など、メディア企業ならではの社会貢献に全力で取り組んでまいります。

2013年8月

大久保好男

代表取締役社長

大久保 好男

## CONTENTS

### 日本テレビホールディングスのCSR

- 日本テレビホールディングス CSR宣言 ..... 1
- 国連グローバル・コンパクトに署名 ..... 1

### 日本テレビホールディングスならではの社会貢献活動

- 24時間テレビ「愛は地球を救う」 ..... 2
- 7daysチャレンジTV ～一緒に、未来貢献。～ ..... 3
- ママモコモ活動 ..... 4
- 日テレ体験教室 ..... 4
- 「よみひと知らず」朗読&ワークショップ ..... 4
- PEOPLE MAGNET TV PROJECT ..... 5

環境活動 ..... 5

### 社会的活動

- 企業倫理 ..... 6
- 人材育成 ..... 6

公益財団法人 日本テレビ小鳩文化事業団 ..... 6





## 日本テレビホールディングス CSR宣言

### 4つの約束

私たちは、高い公共性を担う放送局を中核としたメディア・コンテンツ企業として、放送や事業を通じ、社会に役立つ活動を積極的に推進するため、皆様に「4つの約束」をいたします。

#### 笑顔があふれる社会のために

信頼される放送、心かよう番組や事業を通じ、暮らしを豊かにする活動を目指します。

#### 心が温まる文化・福祉のために

さまざまな文化、芸術に触れる機会を広げ、思いやりの心と安心できる福祉の向上を目指します。

#### 暮らしを支える環境のために

かけがえのない地球環境を守り、より良い暮らしの次世代への継承を目指します。

#### 夢をかなえる未来のために

放送界の先駆者として常に技術の開発に取り組み、新たな体験の機会を提供し、夢のある未来の創造を目指します。

### 国連グローバル・コンパクトに署名

2011年1月、日本テレビは「国連グローバル・コンパクト」に署名しました。国連グローバル・コンパクトとは、1999年1月にスイス・ダボスで開かれた世界経済フォーラムにおいて、当時のアナン事務総長が「民間企業の持つ創造力を結集し、弱い立場にある人々の願いや未来世代の必要に応じていこう」と提唱した企業の自主行動原則です。参加企業には、人権、労働、環境、腐敗防止などCSRの基本10原則に基づいた企業活動を支持し実践することを求めており、世界145カ国、1万の企業・団体が加盟しています。

日本テレビは、「日テレ・エコ委員会」発足以来、全社を挙げて環境保全活動に取り組んでおり、2005年からは、毎年6月5日の「国連・世界環境デー」に合わせてテレビやイベントを通じた「ecoキャンペーン」を展開しているほか、チャリティー番組の「24時間テレビ」や小学生から高校生を対象にした出前授業「日テレフォーラム課外授業!!テレ小屋」などを通じて、テレビ局ならではの社会への貢献活動を実施しています。国連グローバル・コンパクトへの署名をきっかけに、こうした活動をより強化し、国内のみならず海外からも信頼されるグローバルな企業を目指していきます。



FTSE4Good

英FTSEインターナショナル社の社会的責任投資指標である「FTSE4Goodインデックスシリーズ」の構成銘柄に10年連続の選定

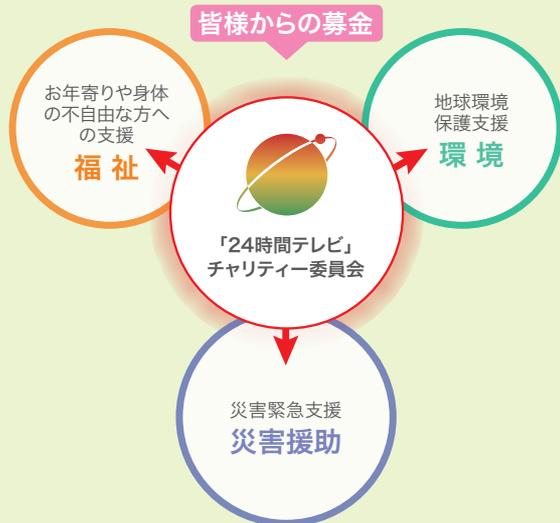


## 24時間テレビ「愛は地球を救う」

1978年に産声を上げた「24時間テレビ」は、テレビの持つメディアとしての特性を最大限に活用し、国内外の福祉の実情や支援の必要性を伝えるという意図のもと、今年で36回を数えるチャリティー番組です。



2013年は、「ニッポンって?~この国の私たち~」をテーマとして2013年8月24~25日に放送しました。番組イベント会場での募金をはじめ多くの視聴者の皆様から寄せられた募金は、全国31社の民間放送局によって組織された「24時間テレビ」チャリティー委員会を通じて、全額が「福祉」「環境」「災害援助」の3つの分野の支援活動で活用されています。なお、この1年間(2012年10月1日~2013年9月30日)に全国の視聴者の皆様より寄せられた募金の総額は、15億4,522万6,444円(歴代2位)となり、「24時間テレビ」の放送が始まった1978年から2013年までの36年間の募金総額は、338億7,363万6,455円となりました。



### 福祉 ~福祉車両贈呈~

福祉車両贈呈は、第1回放送から続いている取り組みです。これまでに、入浴車、リフト付きバスや電動車いすなどを、第35回放送時点において合計9,619台贈呈しました。また、贈呈した福祉車両が有効に利用されているかを確認するため、「稼働状況調査」を年に1度行っています。さらに、贈呈された福祉車両の無断譲渡・売却を禁止し、「24時間テレビ」チャリティー委員会が、廃車まで見届ける管理体制をとっています。解体後は、再利用できる部品は別の車両へ、アルミやスチールは素材としてリサイクルされます。



### 福祉 ~障害者情報保障支援~

#### ■ 障害者情報保障支援

「24時間テレビ」では、情報のバリアフリーを目指し、視覚に障がいのある方が図書館を利用しやすいよう、社団法人日本図書館協会のご協力をいただき、全国240館の公共図書館にDAISY再生機、拡大読書器等の機器を贈呈しています。

#### ■ 身体障害者補助犬普及支援

2002年から身体障害者補助犬法が施行され、補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)を同伴して様々な施設に入れるようになりました。「24時間テレビ」では、身体障害者補助犬に関する正しい知識と理解を深められるよう、2003年から啓発ガイドブックやDVD、ポスター等を作成し、広く配布しています。



## 環境 ～地球環境保護支援～

2004年、支援の柱として「環境」分野を追加したことで、「24時間テレビ」の地球環境保護支援活動がスタートしました。全国各地で、水辺・山辺等の清掃活動、環境保全活動、環境教育活動に取り組んでいます。2013年までの9年間で、延べ6万3,435人のボランティアが参加し、約515トンのごみを回収しました。「24時間テレビ」は、これらの活動を通じて地球環境全体への関心を高めつつ、それをメディアが主体的に行い伝えていくことによって、活動の輪がさらに広がることを目指しています。



エコプロダクツ2012にて「楽しく学べる日テレエコ教室!」を開催

## 災害援助 ～東日本大震災被災地支援～

「24時間テレビ」では、東日本大震災の翌日より緊急募金を開始し、全国から寄せられた募金を義援金として総額11億5,000万円、震災遺児や孤児の基金に3億円を贈呈しました。“かたちある支援”を合言葉に、被災3県にある地方局(テレビ岩手、宮城テレビ放送、福島中央テレビ)が中心となり、被災地の方が本当に必要なものを贈る復興支援活動を行っています。

福島県には、福島第一原子力発電所の事故に伴い放射線による健康リスク対策が急務となっていることから、多くの方が検査を受けられるよう、全身の内部被ばくを測定できるホールボディカウンタ車(内部被ばく測定車)を贈呈しました。

宮城県には、津波被害を受けた障害者地域活動支援施設に作業機材の贈呈による障害者の自立支援を、また地震・津波で壊滅的な被害を受けた障害児の通所施設に遊具類や障害関係専門書等の贈呈を行いました。

岩手県には、学校のグラウンドに仮設住宅が立ち並んだことで子どもたちのグラウンドが失われたため、仮設のグラウンドに照明設備を設置し、被災した子どもたちが安心して生活できるよう支援しました。

## 7daysチャレンジTV ～一緒に、未来貢献。～

日本テレビグループは、次世代に夢のある地球を残すため、テレビやイベントを通じた様々なエコ企画や環境保全活動を展開しています。毎年6月には、「国連・世界環境デー」(6月5日)に合わせて「ecoキャンペーン」を実施してきましたが、今年は日本テレビ開局60年の大型特別企画として「7daysチャレンジTV ～一緒に、未来貢献。～」が始動しました。2013年6月2～9日、「子どもたちに笑顔運ぶ」をテーマに、未来を担う子どもたちに夢と希望を持ってもらえるよう、大人たちが今自分にできることを考え、様々な企画にチャレンジしました。その進捗状況を情報番組やニュース番組内で連日放送し、6月9日のゴール特別番組で成果を報告しました。



今後も、このような未来貢献プロジェクトに取り組み、番組を通じてお伝えしていくことで、テレビ局ならではの社会貢献を目指していきます。

### ■ 人間影絵プロジェクト

1週間で影絵の一大ショーをつくり上げ、世界各地に同時配信しました。

### ■ 笑顔写真プロジェクト

子どもたちの笑顔の写真を1週間で集める企画。世界中から5,599枚の写真が集まりました。

### ■ 子ども図書館プロジェクト

1週間で絵本や児童書を日本中から集め、子ども図書館をつくる企画。1万7,847冊が集まり、三陸鉄道の小本駅に図書館をつくりました。

### ■ アマゾンプロジェクト

学校に通えないけれども勉強したいと願うアマゾンの子どもたちに、インターネットで教育が受けられるよう巨大なパラボラアンテナを届けました。



## ママモコモ活動

ファミリー層に楽しく役に立つ情報を発信していくことを目指して、日本テレビおよびグループ有志社員が集まり、2010年1月より「ママモコモ」活動をスタートさせました。「ママモコモ」の名称には“「ママ」も「子」もハッピーでありますように”との思いが込められています。活動内容としては、イベント会場などで子どもたちとご家族がくつろげる遊びと学びのスペースを用意するほか、授乳室の設置や、アナウンサーによる絵本の読み聞かせなどを継続して行っています。また、2013年3月期には新たに、日本テレビ社屋内でテレビ技術の親子体験教室を実施したほか、不要になった子供服を社内から集めてフリーマーケットを開催し、その売上を24時間テレビに寄付しました。ホームページでも情報発信を行い、「育児や生活から生まれた知恵」や、「ワーキングマザーが抱える悲喜こもごも」などをメンバーがつづっています。



### ■「ママモコモてれび」

「ママモコモてれび」は、「子育てファミリーをHAPPYにしたい」という思いを胸に、子育て中のママやパパをメインに見据え、毎日の子育て生活を楽しく有意義に、子どもの無限の可能性を伸ばせるように、役立つ情報をお届けする番組です。

Facebookなどのデジタルコンテンツを通じてつながった全国の子育てママやパパが抱える「こんな時、どうすればいいの?」という疑問に専門家が答えたり、自身のブログで「カリスマママ」の信頼を集める主婦が、実際の家族との関わりや料理の知恵などを披露したり、また、乳幼児を連れて出かけやすい親子ともに楽しめるスポットを紹介したり、日々様々なメニューで放送しています。

さらに、番組ホームページをはじめとするウェブ展開で、子育てファミリーの情報交換の機会を積極的に設け、毎月1回以上のイベントを開催。子育てファミリーの学びと楽しみの場を提供しています。

## 日テレ体験教室

メディアリテラシーのさらなる向上を目指し、放送機材と中継車を活用した「日テレ体験教室」を2007年から開催しています。これまでに34回開催し、参加した小中学生は延べ3500人にのびります。

この体験教室は、番組づくりの第一線で活躍する技術スタッフが、「テレビについてもっと知りたい!」という好奇心あふれる子どもたちと触れ合いながら番組制作の仕組みを紹介していく体験キャラバンで、中継放送の仕組みや、番組がお茶の間の視聴者に届くまでの過程を知ってもらうための取り組みです。

ここでは、技術スタッフがカメラ撮影のテクニックや音声のミキシング技術を実演するほか、参加者も実際にカメラを担いだり、中継車に乗って音声ミキサーや編集機に触れたりして番組づくりを体感することができます。2013年は宮城テレビと共同で被災地での体験教室も開催しました。

日本テレビではこのほかにも、制作現場で働くプロデューサー、ディレクター、報道記者、アナウンサーなどが講師として小学校や中学校、高校などを訪問し、テレビの面白さや魅力、時にはとっておきのエピソードなどを披露する「日テレフォーラム 課外授業!!テレ小屋」も実施しています。

## 「よみひと知らず」朗読&ワークショップ

「よみひと知らず」は、日本テレビと系列局のアナウンサーやキャスターが、東日本大震災の被災地にある学校や仮設住宅の集会所などで、日本語をテーマにしたワークショップを行う活動です。発声練習や早口言葉、読み聞かせ、紙芝居など、地域や参加者のニーズに合わせて、企画・運営しています。





2011年8月に第1回目のワークショップを石巻市で行って以来、その開催数は10回を超えました。2013年3月期には、飯舘村プロジェクトとして、福島県飯舘村の小学6年生とともにタブレット端末で1年間の学校生活を撮影して「動く卒業アルバム」をつくる活動も行いました。2014年3月期は、飯舘中学校の生徒たちと3年間にわたる同様の記録プロジェクトを進めています。

これからもテレビ局ならではの社会貢献とは何かを考えながら「よみひと知らず」を続けていきます。

## PEOPLE MAGNET TV PROJECT

「最先端の社会貢献の取り組みを紹介し、それをつなげて(MAGNET)、課題解決のための新しいアイデアを生み出していくこと」を目的とした番組とウェブサイトの連動企画「PEOPLE MAGNET TV PROJECT」を、(株)電通と特定非営利法人



公式ウェブサイト <http://pmtv.jp/>

TABLE FOR TWO Internationalをプロジェクトメンバーに迎えスタートさせました。

公式ウェブサイトでは、「アイデアが世界を変える。社会貢献は、カッコイイ」をコンセプトに「社会貢献」というキーワードを捉え直し、社会貢献に関するニュースや写真、動画を掲載して視聴者の皆様の理解と参加意識を高めます。また、自然保護や地域活性化など様々なカテゴリーごとに団体や個人をつなぎ、そこで生み出されたアイデアをさらに広めていくことで、社会貢献の「可能性と未来」について新たな価値を提案します。

テレビでは、2013年7月27日に第1回目の番組を放送し、国内外のセレブリティの社会貢献を貴重な映像と取材VTRで紹介しました。

これからも、様々な「モノ」「ヒト」「コト」が新たに結びつき新たな価値を生み出していき、社会貢献の「つながるポータル」の場づくりを目指していきます。

## 環境活動

日本テレビは、メディア企業のリーダーとしての社会的責任を強く認識し、環境保全活動「日テレ・エコ」を積極的に展開してきました。番組やイベントを通じて広く地球環境保全をアピールするとともに、企業活動によって生じる環境負荷の低減を図っています。私たちはこれらをさらに推進し、美しい地球を守るための努力を続けていきます。

### 日本テレビ環境方針

#### ■ メディア企業としての情報発信

日本テレビは、番組や各種イベントを通じて、環境保全の重要性を広く国民にアピールします。これを通じて、メディアとしての社会的責任を果たし、環境保全に寄与します。

#### ■ 環境マネジメントシステムの構築と継続的改善

日本テレビの企業活動に相応しい環境マネジメントシステムを構築し、資源、エネルギーの有効利用を図ると共に、廃棄物の減量化、リサイクルを推進します。また、これを継続的に改善し、汚染防止に努めます。

#### ■ 法令遵守と社会的責任の遂行

日本テレビの企業活動に関連する環境法規制及びその他の要求事項を遵守し、社会的責任を果たします。

#### ■ 環境方針の達成

- ・ 環境目的及び目標を設定し、環境方針の達成に努めます。
- ・ 環境方針を全従業員に周知・徹底し、全社一丸となって実行します。
- ・ この環境方針を広く公開すると共に、地域社会とのコミュニケーションを図り環境の維持に努めます。





### 企業倫理

2003年12月に「コンプライアンス委員会」を設置し、法令遵守・透明性の高い企業活動の推進に努めてきました。2004年6月に「コンプライアンス推進室」を設置するとともに業務監査システムの強化を実施し、さらに、同年7月1日には「コンプライアンス憲章」を制定・発効しました。コンプライアンス憲章には、日本テレビグループのすべての役員・執行役員・社員が遵守すべき、基本的な内部規範が定められています。日本テレビグループは、自らこのコンプライアンス憲章を遵守することを宣言するとともに、すべての役員・執行役員・社員がコンプライアンス憲章を読み、理解し、遵守します。

### 人材育成

多くの人に支持される放送局であり続けるために、コンテンツのさらなる充実が不可欠であると考えています。

「コンテンツ制作力」は、“人”です。そこで、優秀な人材を求め、その能力を最大限発揮できる環境整備に努めています。社員の仕事の成果を正しく評価するための人材評価制度や、社員の適正な育成を行うためのキャリアデザイン、ジョブリクエスト制度を導入しています。

2003年8月には給与体系の改定を行い、年齢や勤続年数による体系から、社員の実績を重視する成果主義に一本化しました。

また、社員の自己啓発や潤いのある生活を実現するための福利厚生カフェテリアプランなど、社員の活性化に貢献する様々な施策を推進しています。そして、こうした取り組みが会社の価値を高めることにつながると考えています。

 **公益財団法人 日本テレビ小鳩文化事業団**

1974年に「テレビを享受できない目と耳の不自由な方々を支援する」目的で設立された「日本テレビ系列愛の小鳩事業団」と、1976年に「文化の普及、交流、振興に努め、テレビの枠ではとらえきれない事業を行う」目的で設立された「日本テレビ放送網文化事業団」は、財団運営の効率化と事業活動の相乗効果を図るため、2012年4月2日、公益財団法人「日本テレビ小鳩文化事業団」として統合されました。現在行っている主な事業は以下の通りです。

#### ■ 手話スクール開講

手話の普及発展を願い、毎週土曜日、東京・千代田区麹町で約100人の受講生が手話を学んでいます。

#### ■ ニュースの手話放送

毎週日曜日のNNN朝のニュースに手話通訳をつけ全国にお届けしています。

#### ■ 点字カレンダー配布

世界でも珍しい12枚の写真付き点字カレンダーを毎年、全国の視覚障害をもつ方々に無料で配布しています。

#### ■ 俳句塾の開講

俳句を通じて日本語への関心と日本語能力を高めること、そして四季の情景を楽しむ感性を育むことを目指して、隔週土曜日に中学生から大人までの幅広い世代が共に学んでいます。

#### ■ 想いでの詩コンサートの開催

抒情歌、童謡を中心に、自然の美しさ、家族の絆などを歌った楽曲のコンサートです。歌をとおして日本の美しさ、人々の温かさを感じてほしいとの願いから、毎年様々な歌い手さんの共演によるハーモニーをお楽しみいただいています。